

全国4か所で1.8万人の専門学校生が参加 日本最大規模の体育祭「スポーツフェスティバル」を開催 - 関東甲信越・東北大会はさいたまスーパーアリーナで1万人の学生が参加 -

学校法人大原学園(本部:東京都千代田区、理事長:中川 和久)は、全国4か所で総勢1.8万人の専門学校生が参加する『O-HARA スポーツフェスティバル 2018』を今年度も開催いたします。

特に、10月10日(水)にさいたまスーパーアリーナにて開催される関東甲信越・東北大会は、全36校から総勢約1万人が参加し、学校組織が開催する体育祭としては日本では最大規模となります。

ご多忙のところ恐縮ですが、当日に向けた日々の練習・準備風景や当日の様子をぜひご取材いただければと思います。

■ 開催の趣旨・背景

近年、社員の一体感の醸成や士気向上を目的に、「社内運動会」が再び注目を集めるなど、お祭りやレクリエーションを超えた意義が見直されつつある運動会。

平成元年に第1回を開催し、今回30回目を迎える大原学園の「スポーツフェスティバル」も、単なる一日限りのレクリエーション・お祭りではなく、重要な教育の一環として位置付けて実施し、進化しています。

当日は、「競技」「パフォーマンス」「スタンド応援」という3つの部門を競い合いますが、学生メンバーを中心に、数か月間準備を重ねていくプロセスを通して、コミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性、創意工夫する力など、日々の教室の学習だけでは得られない様々な能力を獲得してもらうことを狙っています。幸せな就職を目指し、学生が本気になる、大原学園独自の仕掛けの一つと言えます。

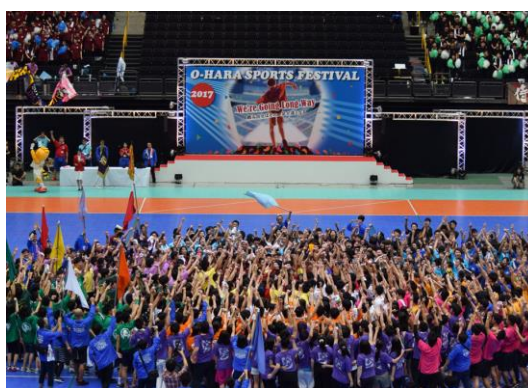
■ 開催予定 ※取材のお申し込みは、各大会の1週間前までに、ご連絡ください。

- **関東甲信越・東北大会** 10月10日(水)10:00~17:00 さいたまスーパーアリーナ
(参加者総数: 全36校、約10,600人)
- **北海道大会** 10月2日(火)10:00~15:00 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
(参加者総数: 全4校、約1,100人)
- **関西北陸大会** 10月25日(木)10:00~15:20 丸善インテックアリーナ大阪(旧大阪市中央体育館より名称変更)
(参加者総数: 全26校、約4,800人)
- **九州大会** 10月26日(金)11:00~15:30 北九州市立総合体育館
(参加者総数: 全11校、約1,600人)

■ 当日の主な構成

- **競技部門:** 大綱引き、リレー、大玉転がしなど、チーム対抗戦で6競技を行います
- **パフォーマンス部門:** アリーナ上で各チームが独自のパフォーマンスを展開。スタンドの盛り上がりも含めて競い合います。
- **スタンド部門:** 1日を通したスタンド応援の盛り上がりも評価。自チームだけでなく、他校の応援も積極的に行っていたかどうかも評価の対象となります。
- **大原学園 勇太鼓:** 長野校・松本校による特別演技です（関東甲信越・東北大会のみ）

■ 過去の様子



<学校法人大原学園 概要>

大原学園は、就職に必要な『仕事力』の獲得および『資格』の取得を支援する専門学校で、主に高校の卒業生を対象とした全日制の「専門課程」と、大学生や社会人を対象とした「社会人講座」の2つを柱としています。1957年に東京水道橋に大原簿記学校として開校、1979年に学校法人大原学園設立。基本金は1,201億円（2018年4月1日現在）。<http://www.o-hara.ac.jp/>

本件リリースに関するお問い合わせ先

学校法人大原学園 プレス担当：林田 朋子

TEL 03-6811-0572 E-mail: press@mail.o-hara.ac.jp